

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

各論演習 21-1

問1)

次の資料により、①退職給付費用および②退職給付引当金を求めなさい。なお、会計期間は1年、当期は×3年4月1日から×4年3月31日までである。

(資料1) 期首試算表 (一部)

期首試算表		(単位：円)
×3年4月1日		
	退職給付引当金	60,395

(資料2) その他の資料

- (1) 前期末退職給付債務 105,000円
- (2) 前期末年金資産時価 42,800円
- (3) 前期末未認識数理計算上の差異 3,420円 (前期より20年で償却している)
- (4) 前期末未認識過去勤務費用 1,615円 (前期より20年で償却している)
- (5) 割引率 2%
- (6) 長期期待運用収益率 1.5%
- (7) 当期勤務費用 10,800円
- (8) 当期年金掛金拠出額 3,940円
- (9) 当期退職給付支給額 8,000円 (退職一時金6,000円、年金からの支給2,000円)
- (10) 当期末退職給付債務 109,280円 (当期末に新たに見積りなおした額である)
- (11) 当期末年金資産時価 45,722円
- (12) 当期に発生した数理計算上の差異は、当期から20年で償却する。

解1)

① 退職給付費用	円
② 退職給付引当金	円

氏名

点数 点/100点

各論演習 21-2

問1)

次の資料より、金沢エレクトリック㈱（当期は×0年4月1日から×1年3月31日まで）の退職給付費用及び退職給付引当金を求めなさい。なお、数理計算上の差異は発生年度から定率法（償却率25%）で費用処理する。

また、仮に数理計算上の差異を発生年度に一括して費用処理した場合及び発生年度から定額法（平均残存勤務期間8年）で費用処理した場合の退職給付費用及び退職給付引当金も求めなさい。

（資料1）期首試算表（一部）

期首試算表 ×0年4月1日	(単位：千円)
退職給付引当金	(各自推定)

（資料2）その他の資料

- (1) 前期末退職給付債務 107,000千円
- (2) 前期末年金資産時価 40,000千円
- (3) 割引率 0.5%
- (4) 長期期待運用収益率 0.2%
- (5) 当期勤務費用 2,500千円
- (6) 当期年金掛金拠出額 4,000千円
- (7) 当期退職給付支給額 5,500千円（退職一時金3,500千円、年金からの支給2,000千円）
- (8) 当期末退職給付債務 105,955千円（当期末に新たに見積りしなおした額である）
- (9) 当期末年金資産時価 42,120千円
- (10) 前期以前に数理計算上の差異等は生じていない。

解1)

(単位：千円)

	定率法
退職給付費用	
退職給付引当金	

(単位：千円)

	一括費用処理	定額法
退職給付費用		
退職給付引当金		